



え・岡本 泰子

ヴァーティカル 大熊 孝江
日本事務所代表

ある日突然、コーシユール・で打ちひしがれていた人が、ダリと名乗るアメリカ在住の『仏教についてもっと知りたベトナム人僧から、ニューヨークにあるヴァーティカル社に電話がかかってきた。『これこそ我々が探していた本です！』

昨春秋、手塚治虫著『ブッダ』の英語版『Buddha』全8巻のうち第一巻と二巻が同社から出版される直前のことだった。その見本版を読んで、コーシユール氏が「我々が連絡してきたのだ。同氏はニューヨーク州にあるボランテニア団体に属し、全米にある刑務所の学校やホスピス（末期患者のための病院）を慰問しながら、刑期を務める囚人たちのカウンセリングをしている。

「我々が慰問する囚人たちの多くは貧困の末に罪を犯したり、エイズなどの不治の病に侵されていたり、人生に絶望して苦しんでいる。そんな彼らに仏教の輪廻転生の理を教えるのが目的です。『あなたの現世の悪いカルマ（業）は来世に生まれ変わって素晴らしい人生を生きるためにあるのです』と。するとそれま

'Buddha, アメリカに行く

東洋思想入門に教科書採用も 歓迎された手塚治虫の傑作



出で伴われてシッタールチ

い」と目を輝かせるようになります。その授業が一向に進まない。紀元前6世紀、今のネパールにあった小国シャカの子として生まれたシッタールチ（ブッダ）が、身分差別や飢えに苦しむ人々を見て「人はなぜ生きるのか、なぜ苦しむのか」と深く悩み29歳（二説には19歳）で出家する。長く過酷な修行の末に悟りを開

界各地に拡大している。日本と違い左側から読む欧米では、図版が反転されていて、右利きが左利きになっているが、それほど気にならないよう

は、たとえ英語に翻訳されていても、まともな教育を受けていない彼らには難しすぎて読めないのである。そんなときに英語版の漫画『Bud

tha』のことを知り、「この物語も面白いし、彼らも楽しんで読めて、輪廻転生を学べる」と確信したのだという。原作である日本語版『ブッダ』は1974年に新書版として潮出版社から出版された。手塚治虫氏46歳の時の長編『大河漫画』である。カリフォルニア大学サンディエゴ校修士課程修了。新聞社雑誌編集の記者、日米の通信企業の広報部長、マーケティング部長等を歴任後、2003年3月より現職。



「俺、南天なんて何年も見てないな あ」

の憧れ

たといわれる。梅雨の頃、枝先にこまかい白い花を着け、秋に赤い実になる。主人公の直子は27歳。十人並みの容姿で化粧映え着映えのしないたちである。